

(様式第 10)

自医経第 174 号  
平成 26 年 10 月 3 日

厚生労働大臣 殿

開設者名 学校法人自治医科  
理事長 香山 充

自治医科大学附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第の規定に基づき、平成 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-3
氏 名	学校法人 自治医科大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

自治医科大学附属病院
------------

3 所在の場所

〒329-0498 栃木県下野市薬師寺3311-1	電話( 0285 ) 44 - 2111
------------------------------	----------------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

<input checked="" type="checkbox"/> 1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、十六診療科名すべてを標榜 <input type="checkbox"/> 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜
---

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無
内科と組み合わせた診療科名等	
1 循環器科 2 消化器科 3 呼吸器科 4 神経内科 5 アレルギー科 6 リウマチ科	
7 8 9 10 11 12 13 14	
診療実績	

(注) 1 「内科」欄及び「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「リウマチ科」及び「アレルギー科」についても、「内科と組み合わせた診療科等」欄に記入すること。

(注) 3 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(2) 外科

外科	(有) ・ 無
外科と組み合わせた診療科名	
1 心臓血管外科    2 呼吸器外科    3 形成外科    4 美容外科    5 小児外科    6	
7                    8                    9                    10                    11                    12                    13                    14	
診療実績	

- (注) 1 「外科」欄及び「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。
- (注) 2 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

①精神科    ②小児科    ③整形外科    ④脳神経外科    ⑤皮膚科    ⑥泌尿器科    ⑦産婦人科
⑧産科    ⑨婦人科    ⑩眼科    ⑪耳鼻咽喉科    ⑫放射線科    ⑬放射線診断科
⑭放射線治療科    ⑮麻酔科    ⑯救急科

- (注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	(有) ・ 無
歯科と組み合わせた診療科名	
1 歯科口腔外科    2                    3                    4                    5                    6                    7	
歯科の診療体制	

- (注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。
- (注) 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1 リハビリテーション科    2 病理診断科    3                    4                    5                    6
7                    8                    9                    10                    11                    12                    13
14                    15                    16                    17                    18                    19                    20
21

- (注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
56床	1床	0床	0床	1,075床	1,132床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

(平成 26 年 10 月 1 日現在)

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	688人	242人	730.7人	看護補助者	23人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	22人	22人	22.9人	理学療法士	18人	臨床検査技師	117人
薬 剤 師	75人	0人	75人	作業療法士	8人	衛生検査技師	0人
保 健 師	3人	0人	3人	視能訓練士	6人	その他	0人
助 産 師	53人	1人	53.8人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看 護 師	1178人	57人	1216.5人	臨床工学技士	19人	医療社会事業従事者	8人
准看護師	0人	0人	0人	栄 養 士	0人	その他の技術員	19人
歯科衛生士	7人	2人	8.6人	歯 科 技 工 士	2人	事務職員	118人
管理栄養士	14人	2人	16人	診療放射線技師	69人	その他の職員	10人

- (注) 1 申請前半年以内のある月の初めの日における員数を記入すること。  
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。  
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

(平成 26 年 10 月 1 日現在)

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	5人	眼科専門医	9人
外科専門医	45人	耳鼻咽喉科専門医	13人
精神科専門医	22人	放射線科専門医	18人
小児科専門医	51人	脳神経外科専門医	16人
皮膚科専門医	7人	整形外科専門医	24人
泌尿器科専門医	16人	麻酔科専門医	25人
産婦人科専門医	37人	救急科専門医	6人
		合 計	294人

- (注) 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合 計
1日当たり平均入院患者数	879人	14人	893人
1日当たり平均外来患者数	2,593人	162人	2,755人
1日当たり平均調剤数	2,685 剤		
必要医師数	240人		
必要歯科医師数	14人		
必要薬剤師数	34人		
必要(准)看護師数	539人		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯

科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。

- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

## 9 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設 備 概 要			
集中治療室	2106.86 m <sup>2</sup>	鉄構造	病床数	32床	心電計	(有)・無
			人工呼吸装置	(有)・無	心細動除去装置	(有)・無
			その他の救急蘇生装置	(有)・無	ペースメーカー	(有)・無
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 587.55m <sup>2</sup> [移動式の場合] 台数 台		病床数	8床		
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床積 613 m <sup>2</sup> [共用室の場合] 共用する室名 DI・TDM室					
化学検査室	214 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) 自動血液ガス分析装置、自動免疫測定装置、自動細胞解析装置、血小板凝集装置			
細菌検査室	92 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) 電気泳動装置			
病理検査室	292 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) 感染防止対策用解剖台、ラミナーフローユニット、腎生検イメージングシステム、染色装置用コントロールシステム			
病理解剖室	900 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) マイクロカッティングマシン			
研究室	287m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) コピー機、書棚			
講義室	200m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	室数	5室	収容定員	150人
図書室	3,678m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	室数	1室	蔵書数	211,000冊程度

(注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。

2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

## 10 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

算定期間		平成25年4月1日～平成26年3月31日	
紹介率	77.7%	逆紹介率	65.5%
算出根拠	A: 紹介患者の数	26,538人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	23,745人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	1,607人	
	D: 初診の患者の数	36,207人	

(注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。





(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

### 高度の医療の提供の実績

#### 4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	95人	・膿疱性乾癬	13人
・多発性硬化症	86人	・広範脊柱管狭窄症	45人
・重症筋無力症	116人	・原発性胆汁性肝硬変	34人
・全身性エリテマトーデス	395人	・重症急性膵炎	6人
・スモン	2人	・特発性大腿骨頭壊死症	41人
・再生不良性貧血	72人	・混合性結合組織病	73人
・サルコイドーシス	118人	・原発性免疫不全症候群	6人
・筋萎縮性側索硬化症	58人	・特発性間質性肺炎	50人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	218人	・網膜色素変性症	18人
・特発性血小板減少性紫斑病	132人	・プリオン病	0人
・結節性動脈周囲炎	55人	・肺動脈性肺高血圧症	17人
・潰瘍性大腸炎	307人	・神経線維腫症	15人
・大動脈炎症候群	48人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ピュルガー病	17人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	1人
・天疱瘡	48人	・慢性血栓性肺高血圧症	13人
・脊髄小脳変性症	94人	・ライソゾーム病	8人
・クローン病	232人	・副腎白質ジストロフィー	1人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	4人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	12人	・脊髄性筋萎縮症	5人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	341人	・球脊髄性筋萎縮症	15人
・アミロイドーシス	8人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	29人
・後縦靭帯骨化症	81人	・肥大型心筋症	6人
・ハンチントン病	4人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	52人	・ミトコンドリア病	8人
・ウェゲナー肉芽腫症	10人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	3人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	65人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	54人	・黄色靭帯骨化症	4人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	0人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、AD H分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング 病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	101人

(注)「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。



(様式第2)

### 高度の医療の提供の実績

#### 5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
療養環境加算	患者サポート体制充実加算
重症者等療養環境特別加算	救急搬送患者地域連携受入加算
診療録管理体制加算2	データ提出加算2
医療安全対策加算1	児童・思春期精神科入院医療管理料
ハイリスク分娩管理加算	摂食障害入院医療管理加算
栄養管理実施加算	感染防止対策加算1(地域連携加算)
臨床研修病院入院診療加算	呼吸ケアチーム加算
特定集中治療室管理料1	救急搬送患者地域連携紹介加算
精神科身体合併症管理加算	新生児治療回復室入院医療管理料
総合周産期特定集中治療室管理料	栄養サポートチーム加算
緩和ケア診療加算	無菌治療室管理加算1
救命救急入院料3+充実度評価A	無菌治療室管理加算2
小児入院医療管理料1、プレイルーム加算	新生児特定集中治療室退院調整加算3
小児入院医療管理料4、プレイルーム加算	ハイリスク妊娠管理加算
特定機能病院入院基本料 一般病棟 7:1	超急性期脳卒中加算
がん診療連携拠点病院加算	退院調整加算
地域歯科診療支援病院歯科初診料	歯科外来診療環境体制加算
特定機能病院入院基本料 精神病棟 15対1 看護補助加算②	救急医療管理加算、乳幼児救急医療管理加算
褥瘡ハイリスク患者ケア加算	急性期看護補助体制加算 50対1
緩和ケア病棟入院料	強度行動障害入院医療管理加算
妊産婦緊急搬送入院加算	歯科診療特別対応連携加算

(様式第2)

### 高度の医療の提供の実績

#### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
高度難聴指導管理料	直線加速器による放射線治療(一連につき)
薬剤管理指導料	糖尿病合併症管理料
外来化学療法加算1	医療機器安全管理料1
無菌製剤処理料	医療機器安全管理料2
エタノール局所注入(甲状腺に対するもの)	神経学的検査
エタノール局所注入(副甲状腺に対するもの)	外来放射線治療加算
麻酔管理料(I)	地域連携診療計画管理料(脳卒中)
検体検査管理加算(I)	冠動脈CT撮影加算
心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	心臓MRI撮影加算
長期継続頭蓋内脳波検査	遺伝カウンセリング加算
補聴器適合検査	ニコチン依存症管理料
輸血管管理料I	強度変調放射線治療(IMRT)
検体検査管理加算(IV)	小児食物アレルギー負荷検査
造血器腫瘍遺伝子検査	がん性疼痛緩和指導管理料
画像誘導放射線治療(IGRT)	体外照射呼吸性移動対策加算
治療抵抗性統合失調症治療指導管理料	定位放射線治療呼吸移動対策加算
がん治療連携計画策定料1	病理診断管理加算2
外来緩和ケア管理料	大腸CT撮影加算
移植後患者指導管理料(臓器移植後)	心臓ペースメーカー指導管理料の注4に掲げる 植込型除細動器移行期加算
糖尿病透析予防指導管理料	持続血糖測定器加算
外来リハビリテーション診療料	1回線量増加加算
外来放射線照射診療料	麻酔管理料(II)
がん治療連携管理料	がん患者指導管理料2
時間内歩行試験	がん患者指導管理料3
ヘッドアップティルト試験	移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)

認知療法・認知行動療法1	心大血管疾患リハビリテーション料(I)
医療保護入院等診療料	がん患者指導管理料1
高エネルギー放射線治療	肝炎インターフェロン治療計画料
放射線治療専任加算	HPV核酸検出
ポジトロン断層撮影、ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影	植込型心電図検査、植込型心電図記録計移植術及び植込型心電図記録計摘出術
画像診断管理加算 1	胎児心エコー法
CT撮影及びMRI撮影	皮下連続式グルコース測定
脳血管疾患等リハビリテーション料(I)	内服・点滴誘発試験
クラウン・ブリッジ維持管理料	歯科技工加算
下顎骨形成術 骨移動を伴う場合(歯科)	広範囲顎骨支持型装置埋入手術(1顎一連につき)
歯科口腔リハビリテーション料2	上顎骨形成術 骨移動を伴う場合(歯科)
歯科矯正診断料	顎口腔機能診断料
運動器リハビリテーション料(I)	センチネルリンパ節生検(乳がんに係るものに限る。)
呼吸器リハビリテーション料(I)	透析液水質確保加算2
がん患者リハビリテーション料	一酸化窒素吸入療法
コンタクトレンズ検査料1	抗悪性腫瘍剤処方管理加算

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・実物大臓器立体モデルによる手術計画	・
・胎児心音超音波検査	・
・眼底三次元画像解析	・
・乳がんセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	・
・悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	・
・超音波骨折治療法	・
・内視鏡的大腸粘膜下層剥離術	・
・先天性難聴の遺伝子診断	・
・腹腔鏡下直腸固定術	・
・腹腔鏡下スリーブ状胃切除術	・
・光トポグラフィーを用いたうつ症状の鑑別診断補助	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。

(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	①臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	月1~2回
剖 検 の 状 況	剖検症例数 34 例 / 剖検率 4.90%

## (様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
夜間睡眠時トリガー血圧計の開発と臨床応用へ向けた国際多施設研究への展開(基盤研究B)	苅尾 七臣	循環器内科	2,340,000	補 委	文部科学省科学研究費助成事業
加齢・認知症における脳皮質下病変の危険因子とその臨床的意義に関する縦断研究(分担研究)	苅尾 七臣	循環器内科	1,500,000	補 委	長寿医療研究開発費
常時装着型循環器機能センサシステムの開発	苅尾 七臣	循環器内科	1,102,500	補 委	技術研究組合NMEMS技術研究機構
加速度センサー内蔵自由行動下血圧計を用いた心疾患患者への運動プログラムの作成(基盤研究C)	星出 聡	循環器内科	2,470,000	補 委	文部科学省科学研究費助成事業
慢性心不全患者に対する運動療法の最適化:高感度加速度センサー内臓携帯型自由行動下血圧計を用いた検討	星出 聡	循環器内科	1,000,000	補 委	三井生命厚生財団
遺伝子診断・細胞工学を組み合わせた遺伝性大動脈疾患の病態解明(基盤研究C)	今井 靖	循環器内科	2,990,000	補 委	文部科学省科学研究費助成事業
上腕動脈の血管弾性の臨床的意義についての検討(基盤研究C)	甲谷 友幸	循環器内科	1,690,000	補 委	文部科学省科学研究費助成事業
位相差トラッキング法による局所血管弾性率の臨床的有用性(若手研究B)	小形 幸代	循環器内科	1,300,000	補 委	文部科学省科学研究費助成事業
自然炎症による生活習慣病の分子基盤:インフラマソームを介したストレス誘導性炎症仮説の解明	高橋将文	炎症・免疫研究部	25,480,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会・先端研究助成基金助成金(最先端・次世代研究開発支援プログラム)
胃腸上皮化生粘膜と胃癌におけるmicroRNAの発現	武藤弘行	消化器内科	1,820,000	補 委	基盤研究C
胃腸上皮化生粘膜における腸粘膜上皮幹細胞の発現	武藤弘行	消化器内科	1,690,000	補 委	基盤研究C
心臓手術における低侵襲	三澤吉雄	心臓血管外科	1,000,000	補 委	文部科学省
びまん性肺疾患に関する調査研究	杉山幸比古	内科学講座 呼吸器内科学部門	34,020,000	補 委	厚生労働省
NCDを用いた胸腔鏡による肺癌切除手術の実態調査	遠藤俊輔	呼吸器外科	700,000	補 委	厚生労働省
サーカディアンメディシンの基礎臨床連携研究拠点	石橋 俊	内分泌代謝学部門	2,000,000	補 委	私学事業団

非感染性疾患の病態解明と診断・治療法の開発拠点の形成	石橋 俊	内分泌代謝学部門	1,400,000	補委	私学事業団
原発性高脂血症調査研究	石橋 俊	内分泌代謝学部門	15,680,000	補委	厚労省
家族性LCAT欠損症患者に対する細胞加工医薬品「LCA遺伝子導入ヒト前脂肪細胞」の早期実用化にむけた非臨床試験	石橋 俊	内分泌代謝学部門	1,500,000	補委	厚労省
循環器病疾患・糖尿病等生活習慣病対策実用化研究事業	石橋 俊	内分泌代謝学部門	800,000	補委	厚労省
マクロファージ脂肪毒性の解除を利用した新規動脈硬化治療法の開発	石橋 俊	内分泌代謝学部門	2,730,000	補委	文科省
動脈硬化症における泡沫現象関連遺伝子発現の分子機構の解明と臨床的意義に関する検討	大須賀 淳一	内分泌代謝学部門	1,040,000	補委	文科省
肝臓脂肪毒性における肝臓リポ蛋白リパーゼ及びリポ蛋白リパーゼ調節因子の意義	野牛 宏晃	内分泌代謝学部門	1,820,000	補委	文科省
中性脂質分解酵素TG2を標的とした糖脂質代謝異常症治療法の開発	坂井 謙斗	内分泌代謝学部門	1,820,000	補委	文科省
接触過敏反応におけるIL-33とその受容体の関与についての検討	小宮根 真弓	皮膚科学	800,000	補委	文部科学省 科研費
IL-3のケラチノサイト細胞内における機能解析	津田 英利	皮膚科学	2,470,000	補委	文部科学省 科研費
稀少難知性皮膚疾患に関する調査研究	小宮根 真弓	皮膚科学	1,500,000	補委	厚生労働省 科研費
腰下肢痛治療における硬膜外腔鏡とスプリングコイルカテーテルの位置づけに関する研究	五十嵐孝, 他	医学部, 麻酔科	1080724	補委	日本学術振興会
「HER2陽性切除不能または再発胃癌に対する、初回化学療法におけるTS-1+シスプラチン+トラスツマブ併用療法の第II相試験(WJOG7212G)」	藤井 博文	臨床腫瘍部	1,050,000	補委	特非)西日本がん研究機構
残存言語イメージングによる失語症の回復支援研究	渡辺英寿	脳神経外科	2,300,000	補委	文部科学省 科学研究費補助金 基盤研究(B)
AADC欠損症に対する遺伝子治療の臨床研究	渡辺英寿	脳神経外科	3,000,000	補委	厚生労働省 科学研究費補助金 難治性疾患政策研究事業
稀少難治性てんかんに関する調査研究	渡辺英寿	脳神経外科	900,000	補委	厚生労働省 科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業

頭蓋骨基準点を含むミニプラ 拡張 標準脳の作成	渡辺英寿	脳神経外科	800,000	補 委	文部科学省科学 研究費補助 金 挑戦的萌 芽研究
血管内投与型AAVベクターに よるてんかんの遺伝子治療	小黒恵司	脳神経外科	1,600,000	補 委	文部科学省科学 研究費補助 金 基盤研究 (C)
AADC欠損症に対する遺伝 子治療の臨床研究	中嶋 剛	脳神経外科	5,000,000	補 委	厚生労働科学 研究費補助金 難治性疾患政
医療従事者の睡眠状態と脳 高次機能についての生理学 的研究	西多 昌規	精神医学	2,000,000	補 委	文部科学省
胎生期低栄養によって精神 疾患発症脆弱性が生じるメカ ニズムを探る	須田 史朗	精神医学	1,600,000	補 委	文部科学省
希少性神経・筋難病疾患の 進行抑制治療効果を得るた めの新たな医療機器、生体 電位等で随意コントロールさ れた下肢装着型補助ロボット (HAL-HN01)に関する医師 主導治験の実施研究	安藤 喜仁	神経内科	2,000,000	補 委	厚生労働科学 研究費補助金 難治性疾患克 服研究事業
血漿sFt1/PIGF比の妊娠高 血圧腎症発症域値を用いた 予防法の開発	大口 昭英	産婦人科	1,040,000	補 委	文部科学省学 術研究助成基 金助成金 基 盤研究(C)
妊娠高血圧症候群の分子病 態におけるマイクロRNAの 役割解明と新規予知因子の 開発	大口 昭英 (分担研究)	産婦人科	260,000	補 委	文部科学省学 術研究助成事 業 基盤研究 (B)
子宮頸がん撲滅へ向けての 至適検診法導入への取組み	藤原 寛行	産婦人科	1,300,000	補 委	文部科学省科学 研究助成基 金助成金 基 盤研究(C)
血管新生と免疫寛容を標的 とした新しい卵巣癌治療法の 開発に関する基礎研究	嵯峨 泰	産婦人科	1,700,000	補 委	文部科学省学 術研究助成基 金助成金 基 盤研究(C)
STOX1遺伝子導入マウスの 妊娠高血圧腎症病態におけ るインフラマソーム機構の検 証	鈴木 寛正	産婦人科	1,040,000	補 委	文部科学省学 術研究助成基 金助成金 基 盤研究(C)
免疫性不妊女性における抗 透常抗体のクラス分類と不妊 治療への応用	鈴木 達也	産婦人科	600,000	補 委	文部科学省学 術研究助成基 金助成金 基 盤研究(C)
膝管細胞を用いた移植膝島 生着の誘導:基礎から臨床 へ	三木 厚	消化器外科	1,200,000	補 委	文部科学省 科学研究費補 助金
がん治療標的探索プロジェク ト	安田是和	消化器外科	3,000,000	補 委	JST革新的先 端研究開発支 援事業

難治性の肝・胆道疾患に関する調査研究	佐田尚宏	鏡視下手術部	2,000,000	補委	厚生労働省 科学研究費補助金
難治性の脾疾患克服研究事業	佐田尚宏	鏡視下手術部	2,000,000	補委	厚生労働省 科学研究費補助金
がん研究開発費	穂積康夫	乳腺科	500,000	補委	厚生労働省 科学研究費補助金
大学の連携による職種・レベル別に対応した臨床研究・治療のe-learningシステムを展開する研究	吉尾 卓	とちぎ臨床試験推進部 内科学講座循環器内科学部門 " " 生化学講座機能生化学部門 医療情報部	6,400,000	補委	厚生労働省
皮膚創傷治癒における血管内皮間葉転換の関与を直接証明する	菅原康志	形成外科	1,900,000	補委	文部科学省 科学研究費補助金
異常瘢痕のエピゲノタイプによる分類	須永 中	形成外科	2,900,000	補委	文部科学省 科学研究費補助金
基盤C: Azacitidine耐性機序の解明に基づく新たな急性白血病治療戦略の確立	永井 正	血液学部門	1,300,000	補委	日本学術振興会
第3次対がん総合戦略研究事業: ゲノクス解析に基づく造血器悪性腫瘍の分子診断法開発	永井 正	血液学部門	3,000,000	補委	厚生労働省
G蛋白結合型受容体とシナプスを標的とした共通病態基盤同定と自閉性障害治療法開発	山形 崇倫	小児科学	4,300,000	補委	文部科学省
先天性白質形成不全症の遺伝子単離と治療薬検討	小坂 仁	小児科学	900,000	補委	文部科学省
新生児仮死の脳保護機構に関する研究: 脳グリコーゲン代謝を基盤とした治療法の検討	杉江 秀夫	小児科学	1,300,000	補委	文部科学省
ケモカインの解析によるファンゲルハンス細胞組織球症の病態解明	森本 哲	小児科学	1,300,000	補委	文部科学省
ヒトCD4+T細胞における転写因子STAT5Bの遺伝子制御機能の解析	金井 孝裕	小児科学	2,400,000	補委	文部科学省
シナプス接着蛋白Cadm1の自閉性障害変異導入マウスにおける分子病態の解析	神保 恵理子	小児科学	1,100,000	補委	文部科学省
C型肝炎ウイルスの変異及び免疫複合体が母子感染に与える影響についての検討	横山 孝二	小児科学	800,000	補委	文部科学省
小児ADHAの抑制機能障害に関するNIRSを用いたモニタリング法の確立	門田 行史	小児科学	700,000	補委	文部科学省
新生児脳低温療法のサイトカイン産生・転写因子発現に及ぼす影響の検討	小池 泰敬	総合周産期母子医療センター	1,200,000	補委	文部科学省



晩期循環不全でのサイトカインを含むバイオマーカーの転写因子発現プロファイルの検討	俣野 美雪	小児科学	700,000	補委	文部科学省
遺伝子解析と脳機能イメージング解析を統合したADHD	長嶋 雅子	小児科学	1,000,000	補委	文部科学省
ランゲルハンス細胞組織球症の発症とトル様受容体経路の多発性の関連	早瀬 朋美	小児科学	1,100,000	補委	文部科学省
シナプス形成・機能に関連する新たな自閉症候補遺伝子群の解析	宮内 彰彦	小児科学	1,000,000	補委	文部科学省
AADC欠損症に対する遺伝子治療の臨床研究	山形 崇倫	小児科学	21,000,000	補委	厚生労働省
AADC欠損症に対する遺伝子治療の臨床研究	小坂 仁	小児科学	3,000,000	補委	厚生労働省
統合的遺伝子解析システムを用いたヒト発達障害研究	小坂 仁	小児科学	1,000,000	補委	厚生労働省
筋ジストロフィーおよび関連疾患の診断・治療開発を目指した基盤研究	杉江 秀夫	小児科学	1,000,000	補委	厚生労働省
新しい新生児代謝スクリーニング時代に適応した先天代謝異常症の診断基準作成と治療ガイドラインの作成および新たな薬剤開発に向けた調査研究	杉江 秀夫	小児科学	1,300,000	補委	厚生労働省
多臓器型ランゲルハンス細胞組織球症の啓発と標準治療の確立	森本 哲	小児科学	5000000	補委	厚生労働省
母乳のダイオキシン類汚染の実態調査と乳幼児の発達への影響に関する研究	河野 由美	総合周産期母子医療センター	500,000	補委	厚生労働省
周産期医療の質と安全の向上のための研究	河野 由美	総合周産期母子医療センター	2,500,000	補委	厚生労働省
難治性疾患克服事業;性分化疾患(緒方班)	中井秀郎(分担)	小児泌尿器科	6,500,000	補委	厚生労働科学研究費
難治性疾患等克服研究事業;先天性腎尿路異常を中心とした小児慢性腎臓病の自然史の解明と早期診断・腎不全進行抑制の治療法の確立	中井秀郎(分担)	小児泌尿器科	11,700,000	補委	厚生労働科学研究費
非翻訳領域リピート伸長脊髄小脳失調症のリピート不安定機構とRNA解析	松浦 徹	神経内科	4,800,000	補委	文部科学省科学研究費補助金 基盤研究(B)
血管内投与型AAVベクターによる神経変性疾患の遺伝子治療	村松 慎一	神経内科	1,500,000	補委	文部科学省科学研究費補助金 基盤研究(C)
AAAベクターを応用した神経変性疾患の病態解析	村松 慎一	神経内科	5,800,000	補委	文部科学省科学研究費補助金 新学術領域
AADC欠損症に対する遺伝子治療の臨床研究	村松 慎一	神経内科	17,000,000	補委	厚生労働科学研究費補助金 成育疾患克服
血友病とその治療に伴う合併症の克服に関する研究	村松 慎一	神経内科	1,000,000	補委	厚生労働科学研究費補助金 エイズ対策研
神経変性疾患に関する調査研究	藤本 健一	神経内科	2,100,000	補委	厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克

スモンに関する調査研究	森田 光哉	神経内科	500,000	補 委	厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業
希少性難治性疾患患者に関する医療の向上及び患者支援のあり方に関する研究	森田 光哉	神経内科	600,000	委	厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業
治験実施に関する研究[酢酸リュープロレリン(追加第Ⅱ相試験)]	森田 光哉	神経内科	3,000,000	補 委	厚生労働科学研究費補助金 治験推進研究事業
遺伝性痙性対麻痺の新規原因遺伝子同定とその機能解析	嶋崎 晴雄	神経内科	1,100,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金 基盤研究(C)
運動失調症の病態解明と治療法開発に関する研究	嶋崎 晴雄	神経内科	700,000	補 委	厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業
希少性神経・筋難病疾患の進行抑制治療効果を得るための新たな医療機器、生体電位等で随意コントロールされた下肢装着型補助ロボット(HAL-HIN01)に関する医師主導治験の実施研究	安藤 喜仁	神経内科	2,000,000	補 委	厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業

計 88

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

## (様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 2 論文発表等の実績

## (1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1	Fukutomi M, Hoshide S, Eguchi K, Watanabe T, Kario K.	循環器内科	Low-grade inflammation and ambulatory blood pressure response to antihypertensive treatment: the ALPHABET study.	Am J Hypertens. 2013.784-792
2	Hoshide S, Fukutomi M, Eguchi K, Watanabe T, Kabutoya T.	循環器内科	Change in high-sensitive cardiac troponin T on hypertensive treatment.	Clin Exp Hypertens.2013.40 -44
3	Hoshide S, Imai Y, Kario K.	循環器内科	Response to Rai.	Hypertens Res. 2013.88
4	Hoshide S, Kario K.	循環器内科	Early morning hypertension: a narrative review.	Blood Press Monit.2013.291- 296
5	Kabutoya T, Hoshide S, Ogata Y, Eguchi K, Kario K.	循環器内科	Masked hypertension defined by home blood pressure monitoring is associated with impaired flow-mediated vasodilatation in patients with cardiovascular risk factors.	J Clin Hypertens (Greenwich)2013.6 30-636
6	Kario K, Ando SI, Kido H, Nariyama J, Takiuchi S, Yagi T, Shimizu T,	循環器内科	The Effects of the L/N-Type calcium channel blocker (Cilnidipine) on sympathetic hyperactive morning hypertension: results from ACHIEVE-ONE*	J Clin Hypertens (Greenwich).2013.1 33-142
7	Kario K, Nariyama J, Kido H, Ando S, Takiuchi S, Eguchi K, Nijima	循環器内科	Effect of a novel calcium channel blocker on abnormal nocturnal blood pressure in hypertensive patients.	J Clin Hypertens (Greenwich)2013.4 65-472
8	Kario K, Robbins J, Jeffers BW.	循環器内科	Titration of amlodipine to higher doses: a comparison of Asian and Western experience.	Vasc Health Risk Manag.2013.695- 701
9	Kario K, Saito I, Kushiro T, Teramukai S, Ishikawa Y, Hiramatsu K.	循環器内科	Effect of the angiotensin II receptor antagonist olmesartan on morning home blood pressure in hypertension: HONEST Study at 16 weeks.	J Hum Hypertens. 2013.721-728
10	Kario K, Saito I, Kushiro T, Teramukai S, Mori Y, Hiramatsu K.	循環器内科	Enhanced blood pressure-lowering effect of olmesartan in hypertensive patients with chronic kidney disease-associated sympathetic hyperactivity: HONEST Study.	J Clin Hypertens (Greenwich).2013.5 55-561
11	Kario K, Sato Y, Shirayama M, Takahashi M, Shiosakai K, Hiramatsu K.	循環器内科	Inhibitory effects of azelnidipine tablets on morning hypertension.	Drugs R D.2013.63-73

12	Kario K, Uehara Y, Shirayama M, Takahashi M, Shiosakai K, Hiramatsu K,	循環器内科	Study of sustained blood pressure-lowering effect of azelnidipine guided by self-measured morning and evening home blood pressure: subgroup analysis of the At-HOME Study.	Drugs R D.2013.75-85
13	Kario K.	循環器内科	Proposal of a new strategy for ambulatory blood pressure profile-based management of resistant hypertension in the era of renal denervation.	Hypertens Res203.478-84
14	Kario K.	循環器内科	Orthostatic hypertension-a new haemodynamic cardiovascular risk factor.	Nat Rev Nephrol2013.726-738
15	Komori T, Eguchi K, Hoshide S, Williams B, Kario K.	循環器内科	Comparison of wrist-type and arm-type 24-h blood pressure monitoring devices for ambulatory use.	Blood Press Monit. 2013.57-62
16	Miyashita H, Katsuda S	循環器内科	Basis of monitoring central blood pressure and hemodynamic parameters by peripheral arterial pulse waveform analyses.	Conf Proc IEEE Eng Med Biol Soc2013-221-224
17	Nagai M, Hoshide S, Kario K.	循環器内科	Role of 24-hour blood pressure management in preventing kidney disease and stroke.	Contrib Nephrol. 2013.67-80
18	Nagai M, Hoshide S, Nishikawa M, Shimada K, Kario K.	循環器内科	Sleep duration and insomnia in the elderly: associations with blood pressure variability and carotid artery remodeling.	Am J Hypertens.2013-981-989
19	Nagai M, Kario K.	循環器内科	What is the truth? Differences in ambulatory blood pressure data between monitors.	J Clin Hypertens (Greenwich).2013.3 26-327
20	Nagai M, Kario K.	循環器内科	Visit-to-visit blood pressure variability, silent cerebral injury, and risk of stroke.	Am J Hypertens. 2013.1369-1376
21	Saito T, Hojo Y, Hirose M, Ikemoto T, Katsuki T, Kario K.	循環器内科	High-sensitivity troponin T is a prognostic marker for patients with aortic stenosis after valve replacement surgery.	J Cardiol. 2013.342-347
22	Takahashi M.	炎症・免疫研究部	Role of innate immune system in inflammation and cardiac remodeling after myocardial infarction.	Curr Vascular Pharm2013
23	Takahashi M.	炎症・免疫研究部	NLRP3 in myocardial ischemia-reperfusion injury: Inflammasome-dependent or -independent role in different cell types (Editorial)	Cardiovasc Res2013.4.5
24	Yano Y, Bakris GL, Matsushita K, Hoshide S, Shimada K, Kario K.	循環器内科	Both chronic kidney disease and nocturnal blood pressure associate with strokes in the elderly.	Am J Nephrol. 2013.195-23

25	Yano Y, Hayakawa M, Kuroki K, Ueno H, Yamagishi S, Takeuchi M, Eto	循環器内科	Nighttime blood pressure, nighttime glucose values, and target-organ damages in treated type 2 diabetes patients.	Atherosclerosis. 2013.135-139
26	Yano Y, Hoshide S, Shimada K, Kario K.	循環器内科	The impact of cigarette smoking on 24-hour blood pressure, inflammatory and hemostatic activity, and cardiovascular risk in Japanese hypertensive patients.	J Clin Hypertens (Greenwich).2013-234-240
27	Yano Y, Inokuchi T, Kario K.	循環器内科	Walking speed is a useful marker of frailty in older persons.	JAMA Intern Med.2013.325-326
28	Yano Y, Kario K, Ishikawa S, Ojima T, Gotoh T, Kayaba K, Tsutsumi A,	循環器内科	Associations between diabetes, leanness, and the risk of deaths in the Japanese general population: the Jichi Medical School Cohort Study.	Diabetes Care2013.1186-1192
29	Yano Y, Nakazato M, Toshinai K, Inokuchi T, Matsuda S,	循環器内科	Circulating des-acyl ghrelin improves cardiovascular risk prediction in older hypertensive patients.	Am J Hypertens. 2013, Dec 21. in press.2013
30	Hayashi Y	消化器内科	A calibrated, small-caliber tip, transparent hood to aid endoscopic balloon dilation of intestinal strictures in Crohn's disease: successful use of prototype.	Endoscopy ;45 :E373-374, 2013
31	Sakamoto H	消化器内科	SOX9 Is Highly Expressed in Nonampullary Duodenal Adenoma and Adenocarcinoma in Humans.	Gut Liver ;7 :513-518, 2013
32	Satoh K	消化器内科	Multi-center randomized controlled study to establish the standard third-line regimen for <i>Helicobacter pylori</i> eradication in Japan.	J Gastroenterol ;48:1128-1135,2013
33	Sugano K	消化器内科	Endoscopic evaluation of low-dose aspirin-induced gastric and duodenal ulcers during prophylaxis with lansoprazole.	Hepatogastroenterology ;60 :762-767, 2013
34	Sugano K	消化器内科	Single-tablet double-dose famotidine plus ibuprofen decreases endoscopic upper GI ulcers compared with ibuprofen alone.	Evid Based Med ;18: 26-27, 2013
35	Sugano K	消化器内科	Premalignant conditions of gastric cancer.	J Gastroenterol Hepatol ;28:906-911,2013
36	Sugano K	消化器内科	Safety and efficacy of long-term esomeprazole 20 mg in Japanese patients with a history of peptic ulcer receiving daily non-steroidal anti-inflammatory drugs.	BMC Gastroenterol ;13: 54, 2013
37	Yamamoto H	消化器内科	Standardized endoscopic submucosal tunnel dissection for management of early esophageal tumors (with video).	Gastrointest Endosc ;78: 946-952, 2013

38	Yamamoto H	消化器内科	Is double-balloon enteroscopy superior to spiral enteroscopy?	Gastrointest Endosc ;77 :250-251, 2013
39	Yamamoto H	消化器内科	Endoscopic Submucosal Dissection Using a Safe Knife V for a Large Flat Lesion in the Ascending Colon.	Video Journal and Encyclopedia of GI Endoscopy; 1: 351-354, 2013
40	Yano T	消化器内科	Clinical outcome of non-surgical treatment for primary small intestinal lymphoma diagnosed with double-balloon endoscopy.	Leuk Lymphoma ; 54:731-736, 2013
41	Yano T	消化器内科	The efficacy of double-balloon enteroscopy for intrahepatic bile duct stones after Roux-en-Y hepaticojejunostomy for choledochal cysts.	Pediatr Surg Int; 29:1103-1107, 2013
42	Yano T	消化器内科	A novel diagnostic and treatment strategy for small intestinal lesions in children: hybrid treatment using transumbilical minimal incision surgery combined with double-balloon enteroscopy.	Pediatr Surg Int ;29:357-361, 2013
43	川人宏次	心臓血管外科	Transformation of vibration signals in rotary blood pumps: the diagnostic potential of pump failure.	J Artif Organs 16:393-396,2013.
44	森田英幹	心臓血管外科	Hemothorax induced by cardiac perforation resulting from two active screw-in leads: a case report.	World J Cardiovascular Diseases 2013.
45	佐藤弘隆	心臓血管外科	Popliteal artery pseudoaneurysm associated with osteochondroma	J Vasc Surg 59(3):825- 825,2014.
46	曾我部将哉	心臓血管外科	Uterine intravenous leiomyomatosis with right ventricular extension.	Ann Thorac Cardiovasc Surg. 2014 Jan 15.
47	Mato N	呼吸器内科	Clinical significance of Interleukin 33(IL-33) in patients with eosinophilic pneumonia	Allergology International 62:45-52,2013
48	坪地宏嘉	呼吸器外科	Carcinoid tumor of the lung with massive ossification: report of a case showing the evidence of osteomimicry and review of the literature.	Int J Clin Exp Pathol 6(5):957-961,2013.
49	坪地宏嘉	呼吸器外科	Primary mucinous adenocarcinoma of the posterior mediastinum.	Ann Thorac Surg 95(6):2159-2161,2013.
50	中野智之	呼吸器外科	Extraction bag lavage cytology during video-assisted thoracoscopic surgery for primary lung cancer.	Interactive CardioVascular and Thoracic Surgery 18:770-774,2014.

51	中野智之	呼吸器外科	Surgical outcomes after superior vena cava reconstruction with expanded polytetrafluoroethylene grafts	Ann Thorac Cardiovasc Surg20(4):310-315,2014.
52	柴野智毅	呼吸器外科	Left pneumonectomy for complex aspergilloma after patent ductus arteriosus ligation.	Intra Cardiovasc Thorac Surg 17:173-175,2013.
53	Hosoya Y, Matsumura M, Madoiwa S, Zuiki T, Matsumoto S, Nunomiya S,	集中治療部	Acquired hemophilia A caused by factor VIII inhibitors: report of a case.	Surgery Today 43: 670-674, 2013.
54	Koyama K, Madoiwa S, Tanaka S, Koinuma T, Wada M, Sakata	集中治療部	Evaluation of hemostatic biomarker abnormalities that precede platelet count decline in critically ill patients with sepsis.	Journal of Critical Care 28: 556-563, 2013.
55	岡田 健太	内分泌代謝学部門	Effects of miglitol versus sirtagliptin on postprandial glucose and lipoprotein metabolism in patients with type 2 diabetes mellitus	Endocr J
56	高橋 学	内分泌代謝学部門	Macrophage lipoprotein lipase modulates the development of atherosclerosis but not adiposity.	J Lipid res
57	Morita Tatsuo	泌尿器科 (腎泌尿器外科学 泌尿器科学部門)	Involvement of magnitude of ambient temperature change in nonspecific effect in perceived placebo effect on lower urinary tract symptoms: study on switching of naftopidil in patients with benign prostatic	Journal of Research and Reports in Urology
58	Nakano Kazuhiko	泌尿器科 (腎泌尿器外科学 泌尿器科学部門)	Hand-foot skin reaction is associated with the clinical outcome in patients with metastatic renal cell carcinoma treated with sorafenib	Japanese Journal of Clinical Oncology
59	Kobayashi Minoru	泌尿器科 (腎泌尿器外科学 泌尿器科学部門)	Changes in peripheral blood immune cells: their prognostic significance in metastatic renal cell carcinoma patients treated with molecular targeted therapy	Medical Oncology
60	Hosoda, S.	皮膚科	Distribution of basement membrane zone components in bullous lesions of subepidermal blistering diseases	The Journal of Dermatology 2013 40(3):211-212
61	Hosoda, S.	皮膚科	Case of pemphigoid involving skin and mucous membrane with immunoglobulin G autoantibodies targeted to BP180 and laminin-332	The Journal of Dermatology 2013 40(12):1067-1068
62	Meephansan, J.	皮膚科	Expression of IL-33 in the epidermis: The mechanism of induction by IL-17	Journal of Dermatological Science 2013 71(2):107-114
63	Meephansan, J.	皮膚科	Possible involvement of SDF-1/CXCL12 in the pathogenesis of Degos disease	Journal of the American Academy of Dermatology 2013 68(1):138-143

64	Maekawa, T.	皮膚科	Serum levels of interleukin-1 $\alpha$ in patients with systemic sclerosis	The Journal of Dermatology 2013 40(2):98-101
65	Maekawa, T.	皮膚科	Peritoneal loose body: A case report and comparison with encapsulated fat necrosis	The Journal of Dermatology 2013 40(12):1058-1059
66	Maki, N.	皮膚科	Pustular eruption induced by sorafenib in a case of psoriasis vulgaris	The Journal of Dermatology 2013 40(4):299-300
67	Ohtsuki, M.	皮膚科	Japanese guidance for use of biologics for psoriasis (the 2013 version)	The Journal of Dermatology 2013 40(9):683-695
68	Morita, M	皮膚科	Case of drug-induced hypersensitivity syndrome with multiple skin ulcers caused by herpes simplex virus reactivation.	The Journal of Dermatology 2013 40(2):132-134
69	五十嵐孝, 他	医学部, 麻酔科	エピソードラスコピーの過去～現在updat	日本臨床麻酔学会誌34, 296-301,2014
70	Ando, H., et al.	薬理学講座臨床薬理学部門	Dosing time-dependent influence of raloxifene on plasma plasminogen activator inhibitor-1 concentration in postmenopausal women with osteoporosis.	Clin Exp Pharmacol Physiol 40: 227-232
71	Ando, H., et al.	薬理学講座臨床薬理学部門	Indirect effects of glucagon-like peptide-1 receptor agonist exendin-4 on the peripheral circadian clocks in mice.	Plos ONE 8: e81119
72	Ando, H., et al.	薬理学講座臨床薬理学部門	Relationship between the receptor occupancy profile and pleiotropic effects of angiotensin II receptor blockers.	Br J Clin Pharmacol 75: 415-422
73	Kumazaki, M., et al.	薬理学講座臨床薬理学部門	$\alpha$ -Lipoic acid protects against arsenic trioxide-induced acute QT prolongation in anesthetized guinea pigs.	Eur J Pharmacol 705: 1-10
74	Kumazaki, M., et al.	薬理学講座臨床薬理学部門	Comparative effects of statins on murine cardiac gene expression profiles in normal mice.	Eur J Pharmacol 707: 71-77
75	Obi-Ioka, Y., et al.	薬理学講座臨床薬理学部門	Involvement of Wee1 in the circadian rhythm dependent intestinal damage induced by docetaxel.	J Pharmacol Exp Ther 347: 242-248
76	Tsuchiya, H., et al.	薬理学講座臨床薬理学部門	Serum Amyloid A Upsurge Precedes Standard Biomarkers of Hepatotoxicity in Ritodrine-Injected Mice.	Toxicology 305: 79-88



77	Ushijima, K., et al.	薬理学講座臨床薬理学部門	Effects of telmisartan and valsartan on insulin sensitivity in obese diabetic mice.	Eur J Pharmacol 698: 505-510
78	Ushijima, K., et al.	薬理学講座臨床薬理学部門	Influence of beta-blockers on the myocardial mRNA expressions of circadian clock- and metabolism-related genes.	J Am Soc Hypertens 7: 107-117
79	村松慎一	神経内科	Parkinson病に対するAADC遺伝子治療の長期効果	機能的脳神経外科 2013;52:38-42
80	門田行史	小児科	fNIRSを用いたADHDの実行機能解析とMPHの薬理効果の検討	日本薬物脳波学会雑誌 2013;14(1):113-126
81	Dan.H	脳機能研究部門	Language-specific cortical activation patterns for verbal fluency tasks in Japanese as assessed by multichannel functional near-infrared spectroscopy.	Brain and Lanng 2013;126(2):208-216
82	Saito T	脳機能部門	Evoked potential mapping of the rostral region by frameless navigation system in Mexican hairless pig.	J of Neuroscience Methods 2013;212:100-105
83	Uga.M	先端技術開発センター	Direct cortical hemodynamic mapping of somatotopy of pig nostril sensation by functional near-infrared cortical imaging (fNCI)	Neuroimage 2013;91(1):138-145
84	荒川京子	中央手術部	ヒヤリハット分析と業務への生かし方 ーヒヤリハットの分析訓練にKYTを活用してー	実践安全手術看護 7(1):95-97,2013
85	橋本 愛	中央手術部	Filemake®とiPad®を利用した紙媒体削減の工夫	手術医学34(1): 47-51,2013
86	松沼早苗	中央手術部	手術室におけるチーム医療ーその専門性と役割分担 ー一週術期における手術室看護師の役割ー	手術医学34(2): 119-120,2013
87	松沼早苗	中央手術部	手術医療の実践ガイドライン(改訂版) 第5章 手術看護	手術医学34(Suppl.): S37-S47,2013
88	丹羽康則	中央手術部	小児における連続呼吸監視モニター(RRa®)の使用経験	麻酔62(7): 855-858,2013
89	飯島裕生	自治医科大学整形外科	Muscle Is a Target for Preservation in a Rat Limb Replantation Model.	PRS-GO. 1(8): e70, 2013

90	笹沼秀幸	自治医科大学整形外科	Accuracy of a proximal tibial cutting method using the anterior tibial border in TKA.	Eur J Orthop Surg Traumatol 2014 Jan 22. [Epub ahead of print]
91	関矢 仁	自治医科大学リハビリテーション	Lateral approach is advantageous in total knee arthroplasty for valgus deformed knee.	Eur J Orthop Surg Traumatol 24(1)111-115, 2014
92	渡邊英明	とちぎ子ども医療センター小児整形外科	Changes in blood coagulation-fibrinolysis markers by pneumatic tourniquet during total knee joint arthroplasty with venous thromboembolism	The Journal of Arthroplasty 29(3) 569-573, 2014
93	八木澤 隆	腎臓外科	先行的腎移植	腎と透析
94	八木澤 隆	腎臓外科	透析スタッフに必要な腎移植医療の知識 2013 最近の腎移植の現状	臨床透析
95	八木澤 隆	腎臓外科	感染症症候群(第2版) 症候群から感染症単一疾患まで含めて	臨床透析
96	八木澤 隆	腎臓外科	腎移植臨床統計からみた腎移植の動向と成績	日本臨床腎移植学会雑誌Vol1(2)
97	八木澤 隆	腎臓外科	腎移植臨床登録集計報告(2013) 2012年実施症例の集計報告	移植
98	木村貴明 八木澤 隆	腎臓外科	腎移植 対症療法 発熱	腎と透析
99	南木 浩二	腎臓外科	腎移植後の複合ウイルス感染に合併した血球貧食症候群の1例	日本臨床腎移植学会雑誌1(2)
100	石川 暢夫	腎臓外科	SLE患者の腎移植	腎と透析
101	岩淵 敏久	腎臓外科	生体腎移植後の早期プロトコール生検における尿細管間質の変化についての検討	
102	石川 暢夫	腎臓外科	Kidney Transplantation of Living Unrelated and ABO incompatible Donor Recipient Combinations	Transplantation Proceedings

103	Inoue, K.	精神医学	Functional impairment in outpatients with mental disorders after the 2011 Great East Japan Earthquake.	Jichi Medical University Journal, 36:47-55, 2013.
104	Kato, S	精神医学	La dépression liée au travail au Japon à l'époque de la mondialisation.	Perspectives Psychiatriques, 52:340-348, 2013.
105	Nishida, S	精神医学	Persistence of secondary restless legs syndrome in a phantom limb caused by end-stage renal disease	Intern Med, 52: 815-818, 2013.
106	Kato, S	精神医学	Relation between Parametric Change of the Workload and Prefrontal Cortex Activity during a Modified Version of the 'Rock, Paper, Scissors' Task.	Neuropsychobiology, 68: 24-33:2013.
107	Yasuda, M	精神医学	Clinical features of late-onset schizophrenia in Japan: comparison with early-onset cases.	Psychogeriatrics, 13:244-249, 2013.
108	Nisijima, K.	精神医学	Increased catecholamine and metabolite levels in three patients with malignant catatonia.	Neuropsychiatr Dis Treat, 9: 1171-1174, 2013.
109	Nisijima, K.	精神医学	Temporal changes in serum creatine kinase concentration and degree of muscle rigidity in 24 patients with neuroleptic malignant syndrome.	Neuropsychiatr Dis Treat, 9: 853-859, 2013.
110	Okajima, I	精神医学	Cognitive behavioural therapy with behavioural analysis for pharmacological treatment-resistant chronic insomnia.	Psychiatry Res, 210:515-521, 2013.
111	Fujiwara H	産婦人科	Community-based interventions to improve HPV vaccination coverage among 13- to 15-year-old females: measures implemented by local governments in Japan.	PLoS One 2013;8:e84126.
112	Hirashima C	産婦人科	Additive effects of mean blood pressure and bilateral notching in the second trimester on subsequent angiogenesis-related factors.	Hypertens Res. 2013 Aug 15. doi: 10.1038/hr.2013.88.
113	Horie K	産婦人科	Thrombus just beneath a retrievable IVC filter in a pregnant woman with deep vein thrombosis: its removal requiring catheter thrombus fragmentation with fibrinolysis.	J Obstet Gynaecol Res 2013 Oct 7. doi: 10.1111/jog.12169.
114	Koriyama J	産婦人科	Toward standardization of the cut-off value for the direct immunobead test using the postcoital test in immunologically infertile males.	Reprod Med Biol 2013;12:21-25.
115	Koyanagi T	産婦人科	Downregulation of vasohibin-2, a novel angiogenesis regulator, suppresses tumor growth by inhibiting angiogenesis in endometrial cancer cells.	Oncol Lett 2013;5:1058-1062.

116	Koyanagi T	産婦人科	In vivo delivery of siRNA targeting vasohibin-2 decreases tumor angiogenesis and suppresses tumor growth in ovarian cancer.	Cancer Sci 2013;104:1705-1710.
117	Kuwata T	産婦人科	The "stained glass" sign for placental mesenchymal dysplasia.	Ultrasound Obstet Gynecol 2013 Oct 21. doi: 10.1002/uog.13230
118	Matsubara S	産婦人科	Ureteral catheter is useful to prevent ureteral injuries not only for gynecologic surgery but also for cesarean hysterectomy for placenta previa accreta: the obstetrician's opinion.	Urologia. 2014 Feb 3;0(0):0. doi: 10.5301/urologia.5000049. [Epub ahead of print
119	Matsubara S	産婦人科	Combination of an intrauterine balloon and the "holding the cervix" technique for hemostasis of postpartum hemorrhage and for prophylaxis of acute recurrent uterine inversion	Acta Obstet Gynecol Scand 2013 Oct 15. doi: 10.1111/aogs.12282
120	Matsubara S	産婦人科	An untold factor that may influence the rate of cesarean section.	Acta Obstet Gynecol Scand 2013 Oct 4. doi: 10.1111/aogs.12272.
121	Matsubara S	産婦人科	Web-based education for placental complications of pregnancy.	J Obstet Gynaecol Can 2013;35:881-882.
122	Matsubara S	産婦人科	Cesarean hysterectomy for placenta previa accreta; extrapolating measures may have merits for ordinary obstetricians.	Acta Obstet Gynecol Scand 2013;92:1431-1432.
123	Matsubara S	産婦人科	Practical consideration of inserting intrauterine balloon during cesarean section for placenta previa.	Acta Obstet Gynecol Scand 2013 Aug 21. doi: 10.1111/aogs.12241.
124	Matsubara S	産婦人科	Uterotonic agents should be avoided during cesarean hysterectomy for placenta previa accreta until evidence is forthcoming.	Acta Obstet Gynecol Scand 2013 ;92:1339.
125	Matsubara S	産婦人科	Uterine necrosis after B-Lynch suture in classical caesarean section.	Aus NZ J Obstet Gynaecol 2013;53:595-596.
126	Matsubara S	産婦人科	Uterine compression suture: not yet complete.	Aus NZ J Obstet Gynaecol 2013;53:505-506
127	Matsubara S	産婦人科	Caesarean hysterectomy for placenta praevia accreta: filling the bladder technique to identify an appropriate bladder separation site.	J Obstet Gynaecol 2013;33:163-164
128	Matsubara S	産婦人科	"Holding the cervix" technique: prophylaxis for acute recurrent uterine inversion.	Arch Gynecol Obstet 2013;288:463-465

129	Matsubara S	産婦人科	Ante-partum bleeding: Is determination of its risk factors clinically significant?	N J Clin Pract 2013;16:405-405
130	Matsubara S	産婦人科	Should mortality be informed for cesarean hysterectomy for placenta accreta?	J Obstet Gynaecol Res 2013;39:466-467
131	Matsubara S	産婦人科	MY (Matsubara-Yano) uterine compression suture to prevent acute recurrence of uterine inversion.	Acta Obstet Gynecol Scand 2013;92:734-735.
132	Matsubara S	産婦人科	Controversy on another possible risk of preterm delivery after cervical conization: time interval between conization and conception.	Eur J Gynaecol Oncol. 2014;35(1):5; discussion 6.
133	Matsubara S	産婦人科	Biliary sludge during hyperemesis gravidarum and later occurrence of gallstones.	J Obstet Gynaecol Res. 2013;39:617
134	Matsubara S	産婦人科	Fetal movement count may prevent fetal death as early as 26 weeks.	Acta Obstet Gynecol Scand. 2013;92:1426-1426
135	Matsubara S	産婦人科	Uterine artery pseudoaneurysm rupture as a culprit of postpartum hemorrhage: not always after cesarean section.	J Emerg Med 2013 Nov 1. pii: S0736-4679(13)01116-5. doi: 10.1016/j.jemerme
136	Matsubara S	産婦人科	Uterine artery pseudoaneurysm: A master of deception.	Arch Gynecol Obstet DOI 10.1007/s00404-013-2992-8
137	Matsubara S	産婦人科	Birth injury after cesarean section at 24 weeks of gestation: A large scalp laceration.	Arch Gynecol Obstet 2013;287:617-618
138	Matsubara S	産婦人科	Holding the cervix" technique for postpartum hemorrhage for achieving hemostasis as well as preventing prolapse of an intrauterine balloon.	J Obstet Gynaecol Res 2013;39:1116-1117.
139	Matsubara S	産婦人科	Intrauterine balloon occlusion during cesarean hysterectomy for placenta previa accreta: the internal or common iliac artery?	Acta Obstet Gynecol Scand. 2014 Jan;93(1):122-3.
140	Matsubara S	産婦人科	Is it time to classify various uterine compression suture techniques?	Arch Gynecol Obstet 2013;288:1195-6.
141	Matsubara S	産婦人科	Uterine compression suture combined with holding the cervix technique: A measure to achieve hemostasis for atonic bleeding during or after cesarean section.	Acta Obstet Gynecol Scand. 2013;92:1234-5.

142	Matsubara S	産婦人科	Adenomyomectomy, curettage, and then uterine artery pseudoaneurysm occupying the entire uterine cavity.	J Obstet Gynaecol Res 2013;39:1103-1106.
143	Matsubara S	産婦人科	Uterine compression suture for postpartum hemorrhage: An overview.	Acta Obstet Gynecol Scand 2013;92:378-385.
144	Matsubara S	産婦人科	Uterine artery pseudoaneurysm hidden behind septic abortion: pseudoaneurysm without preceding procedure.	J Obstet Gynaecol Res. 2013 Oct 7. doi: 10.1111/jog.12173.
145	Matsubara S	産婦人科	Perimortem cesarean section or perimortem cesarean supracervical hysterectomy?	Arch Gynecol Obstet 2013;287:389-390.
146	Matsubara S	産婦人科	Important surgical measures and techniques at cesarean hysterectomy for placenta previa accreta.	Acta Obstet Gynecol Scand 2013;92:372-377.
147	Ohuchi A	産婦人科	[Editorial] Biological Interaction as a Useful Tool to Understand Complicated Relationship among Multiple Risk Factors.	Med J Obstet Gynecol 2013; 1(1): 1001
148	Ohuchi A	産婦人科	Onset threshold of the plasma levels of soluble fms-like tyrosine kinase 1/placental growth factor ratio for predicting the imminent onset of preeclampsia within 4 weeks after blood	Hypertens Res. 2013 Aug 22. doi: 10.1038/hr.2013.95. [Epub ahead of print]
149	Suzuki H	産婦人科	Maternal perception of decreased fetal movement in one twin: a clue leading to the early detection of absent variability due to acute twin-to-twin transfusion syndrome.	Case Reports in Obstetrics and Gynecology 2013;345803 (on line)
150	Takahashi H	産婦人科	Differential expression of ADAM (a disintegrin and metalloproteinase) genes between human first trimester extravillous and villous trophoblast cells.	J Nippon Med Sch. 2014;81(3):122-9
151	Takahashi H	産婦人科	Extravillous trophoblast cell invasion is promoted by the CD44-hyaluronic acid interaction.	Placenta. 2014 Mar;35(3):163-70. doi: 10.1016/j.placenta.2013.12.009. Epub
152	Takahashi K	産婦人科	Suppression of lymph node and lung metastases of endometrial cancer by muscle-mediated expression of soluble vascular endothelial growth factor receptor-3.	Cancer Sci 2013; 104:1107-1111.
153	Takahashi K	産婦人科	Establishing measurements of subcutaneous and visceral fat area ratio in the early second trimester by magnetic resonance imaging in obese pregnant women.	J Obstet Gynaecol Res. 2014 May;40(5):1304-7. doi: 10.1111/jog.12364.
154	Takahashi K	産婦人科	Biophysical interaction between blood pressure and uterine artery Doppler for the occurrence of early-onset preeclampsia: A prospective cohort study.	Pregnancy Hypertension 2013;3:270-277.

155	Watanabe T	産婦人科	Labial adhesion causing voiding but not sexual problems in a married woman.	J Obstet Gynaecol Res. 2013;39:415-419.
156	Yano H	産婦人科	A long curved needle with a large radius for uterine compression suture.	Acta Obstet Gynecol Scand. 2013;92:988-9.
157	土肥昭博	歯科口腔外科	下顎水平埋伏智歯抜歯時に生じた皮下・縦隔気腫の1例	口科誌 62(2): 192-197, 2013
158	林 宏美	歯科口腔外科	歯肉に生じた形質細胞肉芽腫の1例	日口内誌 19(1): 14-19, 2013
159	柏崎明子	歯科口腔外科	舌に発生した被角血管腫の1例	日口診誌 26(3): 336-339, 2013
160	神部芳則	歯科口腔外科	EBV関連T/NKリンパ増殖性疾患と考えられた口蓋粘膜潰瘍の1例	日口内誌 19(2): 48-53, 2013
161	川嶋理恵	歯科口腔外科	ICD植込み患者における上顎歯肉癌に対する手術の1例	日有病歯誌 22(3): 215-221, 2013
162	大谷津幸生	歯科口腔外科 鎌ヶ谷総合病院歯科	顎関節に転移した膀胱癌の1例	日口外誌 59(5): 311-315, 2013
163	小澤通子	歯科口腔外科	カンジダ性口唇炎の3例	日口内誌 19(2): 66-71, 2013
164	佐瀬美和子	歯科口腔外科	著明な口腔粘膜のびらんを伴った多形滲出性紅斑の3例	日口診誌 26(3): 309-314, 2013
165	篠崎泰久	歯科口腔外科	CVポートのカテーテルによる静脈血栓症を認めた口腔癌の1例	歯科放射線 53(3): 30-31, 2013
166	篠崎泰久	歯科口腔外科	両側顎下腺の腫脹を生じた混合性結合組織病の1例	歯科放射線 53(2): 19-20, 2013
167	山本亜紀	歯科口腔外科	含歯性嚢胞が疑われた骨孤立性形質細胞腫の1例	日口診誌 26(2): 237-242, 2013

168	山下雅子	歯科口腔外科	下顎に多発した非典型的単純性骨嚢胞の1例	日口診誌 26(3): 299-304, 2013
169	山下雅子	歯科口腔外科	妊婦に生じた膿原性肉芽腫の2例	日口内誌. 19(2): 60-65, 2013
170	Jinbu Y	歯科口腔外科	Glycogenic acanthosis of the bilateral buccal mucosa: Report of a case	J Oral Maxillofac Surg Med Pathol 25: 171-173, 2013
171	Jinbu Y	歯科口腔外科	Oral ulceration due to a dipeptidyl peptidase-4 inhibitor (sitagliptin): Report of a case	J Oral Maxillofac Surg Med Pathol 25: 164-166, 2013
172	Obi-Ioka Y	歯科口腔外科	Involvement of Wee 1 in the Circadian Rhythm-Dependent Intestinal Damage Induced by Docetaxel	J Pharmacol Exp Ther 347: 242-248, 2013
173	遠藤和洋	消化器・一般外科	Virtual 3D model, real 3D modelによる胆膵手術シミュレーションならびにナビゲーションの試み.	胆と膵34(1):69-73, 2013.
174	Endo,K.	消化器・一般外科	Elevation of intra-abdominal pressure by pneumoperitoneum decreases pancreatic perfusion in an in vivo porcine model.	Surg.Laparosc.Percutan Tech 2013 (in press)
175	Inoue,Y.	消化器・一般外科	Role of the inflammasome in inflammatory responses and subsequent after hepatic ischemiareperfusion injury.	Hepatology 58(6): 2212, 2013.
176	Kasahara,N.	消化器・一般外科	Luminescence-Based assay to screen preservation solutions for optimal ability to maintain viability of rat intestinal grafts.	Transplantation Proceedings 45: 2486-2490, 2013.
177	Nihei,Y.	消化器・一般外科	Experimental evaluation of portal venous pulsatile flow synchronized with heartbeat intervals : effects of vascular clamping on portal hemodynamics.	J.Med.Ultrasonics 40:9-18, 2013.
178	Nishimura,W.	消化器・一般外科	Quantitative assessment of Pdx1 promoter activity in vivo using a secreted luciferase reports system.	Endocrinology 154(11):4388-1395, 2013.
179	Sanada,Y.	移植外科	Impact of endotoxin measured by an endotoxin activity assay during liver transplantation.	J.Surg.Res. 180(2): 349-355, 2013.
180	Shiozawa,M.	乳腺科	Sentinel lymph node biopsy in patients with breast cancer using superparamagnetic iron oxide and a magnetometer.	Breast Cancer 20: 223-229, 2013.



181	Tahara,M.	消化器・一般外科	Cell diameter measurements obtained with a handheld cell counter could be used as a suprogate marker of G2/M arrest and apoptosis in colon cancer cell lines exposed to SN-38.	Biochem. Biophys. Res. Commun. 434:753-759, 2013.
182	簗田清次	アレルギー膠原病学	Physico-chemical characteristics of TNF $\alpha$ blockers and their effectiveness in the treatment of rheumatoid arthritis:the theoretical and real worlds.	Mod Rheumatol 23:1034-6,2013.
183	釜田康行	アレルギー膠原病学	Three-pointed star sign of lupus enteritis.	Rheumatology 52: 1008.2013.
184	長嶋孝夫	アレルギー膠原病学	Posterior ischemic optic neuropathy in a patient with granulomatosis with polyangiitis (Wegner's).	Rheumatol Int 33: 1915-6. 2013.
185	丸山暁人	アレルギー膠原病学	Glucocorticoid-induced Normotensive Scleroderma Renal Crisis:A Report on Two Cases and a Review of the Literature in Japan.	Intern Med 52:1833-7.2013.
186	中村潤	アレルギー膠原病学	Radiographic features of rhus arthritis.	Intern Med 52:2837,2013.
187	長嶋孝夫	アレルギー膠原病学	Clinical features of a new disease concept,lgG4-related thyroiditis:comments on the article by Watanabe et al.	Scand J Rheumatol 42(6):510-1,2013.
188	花井俊一朗	アレルギー膠原病学	Pseudogout of the sternoclavicular joints.	Intern Med 53:521-2,2014.
189	牧野 伸二	眼科学	Correlations between choroidal abnormalities, Lisch nodules, and age in patients with neurofibromatosis type 1	Clinical Ophthalmology
190	牧野 伸二	眼科学	Choroidal abnormalities in a 9-year-old girl with neurofibromatosis type 1	Pediatrics International
191	牧野 伸二	眼科学	Utility of blue-on-yellow perimetry in the evaluation of patients with idiopathic optic neuropathy.	Clinical Ophthalmology
192	春田英律	自治医科大学消化器外科	人工呼吸管理中に発症した気管食道瘻に対し遊離前腕皮弁を用いて閉鎖した神経性食思不振症の1例	手術67(1):137-140, 2013.
193	去川俊二	自治医科大学形成外科	「軟組織再建-患者QOL向上を目指して-」QOL調査に基づいた機能再建の治療戦略-腹直筋移植による胸鎖乳突筋動的再建-	口腔腫瘍25(4): 185-190, 2013.

194	宇田宏一	自治医科大学形成外科	頬骨骨折に対するCRIFコンセプトとCRIF法による治療	日本形成外科学会誌 33(2):91-98, 2013.
195	Katsuragi,YT.	自治医科大学形成外科	Intracerebral foreign body granuloma caused by a resorbable plate with passive intrasosseous translocation after cranioplasty	J Neurosurg Pediatr. 12(6):622-625, 2013.
196	Sarukawa,S.	自治医科大学形成外科	Development of a tool for speech intelligibility evaluation after glossectomy : The TKR speech test.	Japanese Journal of Head and Neck Cancer 39(3):374-378, 2013.
197	Sunaga,A.	自治医科大学形成外科	Free radial forearm "bunting" flap for reconstructing soft-tissue defects involving multiple fingers.	Plast Reconstr.Surg. Glob Open. 1 : e36, 2013.
198	Sunaga,A.	自治医科大学形成外科	The fate of non-vascularized fat grafts : Histological and bioluminescent study.	Plast Reconstr.Surg. Glob Open. 1 : e40, 2013.
199	Uda,H.	自治医科大学形成外科	The concept and method of closed reduction and internal fixation : a new approach for the treatment of simple zygoma fractures.	Plast Reconstr.Surg. 132:1231-1240, 2013.
200	Suzuki T, et al.	血液学部門	Clinical evaluation of WT1 mRNA expression levels in peripheral blood and bone marrow in patients with myelodysplastic syndromes.	Leuk Lymphoma
201	Sugimoto M, Suzuki T et al.	血液学部門	Analysis of hemolysis in collected bone marrow for bone marrow transplantation	Transfus Apher Sci
202	Muroi K, Suzuki T, et al.	血液学部門	CD56 expression in normal immature granulocytes after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation	J Clin Exp Hematop
203	Kobayashi, H.,et al.	血液学部門	Clinical outcome of non-surgical treatment for primary small intestinal lymphoma diagnosed with double-balloon endoscopy.	Leuk Lymphoma
204	Sripayap, P.,et al.	血液学部門	Combined azacitidine and romidepsin enhances cytotoxicity in azacitidine-sensitive but not in azacitidine-resistant multiple myeloma cell lines.	Jichi Med Univ J
205	Sripayap, P.,et al.	血液学部門	Romidepsin overcomes cell adhesion-mediated drug resistance in multiple myeloma cells.	Acta Haematologica
206	矢野(五味)晴美	臨床感染症学	TG13 antimicrobial therapy for acute cholangitis and cholecystitis.	J Hepatobiliary Pancreat Sci. 20:60-70

207	森本 哲	小児科学	Therapeutic outcome of multifocal Langerhans cell histiocytosis in adults treated with the Special C regimen t formulated by the Japan LCH Study Group.	Int J Hematol 97: 103-108,2013.
208	門田 行史	小児科学	Late-onset Leigh syndrome with myoclonic epilepsy with ragged-red fibers.	Brain Dev 35: 582-585,2013.
209	松本 歩	小児科学	An Xp22.12 microduplication including RPS6KA3 identified in a family with variably affected intellectual and behavioral disabilities.	J Hum Genet 58: 755-757,2013.
210	鈴木 由芽	総合周産期母子医療センター	Hemophagocytic lymphohistiocytosis in a newborn infant born to a mother with Sjögren syndrome antibodies.	J Perinatol 33: 569-571,2013.
211	甲賀 健史	小児科学	A Child with Three Episodes of Reversible Splenic Lesion.	Neuropediatrics 44: 199-202,2013.
212	Matsuura T, 他	神経内科	Exome sequencing as a diagnostic tool to identify a causal mutation in genetically highly heterogeneous limb-girdle muscular dystrophy.	J Hum Genet. 58:564-565, 2013.
213	Matsuura T, 他	神経内科	Myotonic dystrophy CTG expansion affects synaptic vesicle proteins, neurotransmission and mouse behaviour.	Brain. 136 (Pt 3) :957-970, 2013.
214	Matsuura T, 他	神経内科	Tissue Plasminogen Activator Thrombolytic Therapy for Acute Ischemic Stroke in 4 Hospital Groups in Japan.	J Stroke Cerebrovasc Dis. 22:190-196, 2013.
215	Matsuura T, 他	神経内科	Clinical and genetic analysis of the first known Asian family with myotonic dystrophy type 2.	Hum Genet. 59 (3) :129-33, 2014.
216	Muramatsu S, 他	神経内科	Intrastriatal gene delivery of GDNF persistently attenuates methamphetamine self-administration and relapse in mice.	Int J Neuropsychopharmacol. 16 (7) :1559-1567, 2013.
217	Muramatsu S, 他	神経内科	Rescue of amyotrophic lateral sclerosis phenotype in a mouse model by intravenous AAV9-ADAR2 delivery to motor neurons.	EMBO Mol Med. 5 (11) :1710-1719, 2013.
218	Muramatsu S, 他	神経内科	AADC deficiency: occurring in humans, modeled in rodents.	Adv Pharmacol. 68:273-284, 2013.
219	森田光哉, 他	神経内科	抗神経抗体の存在が確認できた膀胱癌を伴う傍腫瘍性小脳変性症の1例.	Brain Nerve. 65 (11) :1401-1405, 2013.

220	Shimazaki H, 他	神経内科	Mutations in the mitochondrial gene C12ORF65 lead to syndromic autosomal recessive intellectual disability and show genotype phenotype correlation.	Eur J Med Genet. 56 (11) :599-602, 2013.
221	Namekawa M, 他	神経内科	Segmental zoster paresis of the right shoulder.	Internal Med. 52 (24) :2839, 2013.
222	Namekawa M, 他	神経内科	Cortical involvement in Marchiafava-Bignami disease can be a predictor of a poor prognosis: a case report and review of the literature.	Intern Med. 52 (7) :811-813, 2013. Epub Apr 1, 2013.
223	Namekawa M, 他	神経内科	Familial adult-onset Alexander disease with a novel mutation (D78N) in the glial fibrillary acidic protein gene with unusual bilateral basal ganglia involvement.	J Neurol Sci. 331 (1-2) :161-164, 2013.
224	安藤喜仁, 他	神経内科	右前脈絡叢動脈領域梗塞により左半側空間無視、構成障害および漢字失書を呈した1例。	脳卒中 Vol.36 No.2 p76-81, 2014.
225	Akimoto C, 他	神経内科	PGC-1 $\alpha$ is a male-specific disease modifier of human and experimental amyotrophic lateral sclerosis.	Hum Mol Genet. 1;22 (17) :3477-3484, 2013.
226	Akimoto C, 他	神経内科	A novel phosphorylation site mutation in profilin 1 revealed in a large screen of US, Nordic, and German amyotrophic lateral sclerosis/frontotemporal dementia cohorts.	Neurobiol Aging. 34 (6) :1708. e1-6, 2013.
227	Tetsuka S, 他	神経内科	Utility of cystatin C for renal function in amyotrophic lateral sclerosis.	Acta Neurol Scand. 128 (6) :386-390, 2013.
228	Tetsuka S, 他	神経内科	Paraneoplastic cerebellar degeneration associated with an onconeural antibody against creatine kinase, brain-type.	J Neurol Sci. 15;335 (1-2) :48-57, 2013.
229	Tetsuka S, 他	神経内科	Preoperative high-dose steroid has long-term beneficial effects for myasthenia gravis.	Neurol Res Int. 709480, 2013.

計229

(注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が申請の前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る)。

3 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。

4 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

5 平成二十六年度中の業務報告において当該実績が七十件未満の場合には、平成二十六年度の改正前の基準による実績についても報告すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1				
2				
3				
4				
5				
～				

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。

3 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容 別紙1を参照	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年 35回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。

2 「③倫理審査委員会の開催状況」に係る報告については、平成二十六年度中の業務報告において開催実績が無い場合には、平成二十六年四月以降の実績を報告しても差し支えないこと（その場合には、その旨を明らかとすること）。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容 別紙2.3を参照	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年 10回

(注) 「③利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況」に係る報告については、平成二十六年度中の業務報告において開催実績が無い場合には、平成二十六年四月以降の実績を報告しても差し支えないこと（その場合には、その旨を明らかとすること）。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年 11回
・ 研修の主な内容 別紙4	

(注) 「①臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況」に係る報告については、平成二十六年度中の業務報告において実施実績が無い場合には、平成二十六年四月以降の実績を報告しても差し支えないこと（その場合には、その旨を明らかとすること）。

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

<ul style="list-style-type: none"><li>・ブタを用いた外傷手技トレーニング方法の研究</li><li>・既にハーベストしてある胃を用いた縫合、吻合実習</li><li>・ブタの開頭手術実習</li><li>・救急外傷トレーニング</li><li>・外科BSL 等</li></ul>
---

2 研修の実績

研修医の人数	85	人
--------	----	---

(注) 前年度の研修医の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
杉山 幸比古	内科(総合診療内科)	科長	38年	
長田 太助	内科(腎臓)	科長	22年	
神田 善伸	内科(血液)	科長	23年	
石橋 俊	内科(内分泌代謝)	科長	32年	
藤井 博文	内科(臨床腫瘍)	科長	26年	
森澤 雄司	内科(感染症)	科長	23年	
丹波 嘉一郎	内科(緩和ケア)	科長	30年	
苅尾 七臣	循環器科	科長	27年	
山本 博徳	消化器科	科長	30年	
杉山 幸比古	呼吸器科	科長	38年	
森田 光哉	神経内科	科長	28年	
岩本 雅弘	アレルギー科	科長	28年	
岩本 雅弘	リウマチ科	科長	28年	
大槻 マミ太郎	皮膚科	科長	28年	
杉本 英治	放射線科	科長	34年	
相原 敏則	放射線科(小児画像診断部)	科長	34年	
加藤 敏	精神科	科長	39年	
阿部 隆明	精神科(子どもの心の診療科)	科長	33年	
山形 崇倫	小児科	科長	28年	
細谷 好則	外科(消化器)	科長	24年	
八木澤 隆	外科(腎臓)	科長	34年	
穂積 康夫	外科(乳腺)	科長	32年	
水田 耕一	外科(移植)	科長	23年	

三澤 吉雄	心臓血管外科	科長	36年
河田 政明	心臓血管外科 (小児・先天性心臓血管外科)	科長	34年
遠藤 俊輔	呼吸器外科	科長	30年
宇田 宏一	形成外科	科長	19年
宇田 宏一	美容外科	科長	19年
小野 滋	小児外科	科長	23年
渡辺 英寿	脳神経外科	科長	38年
五味 玲	脳神経外科 (小児脳神経外科)	科長	30年
竹下 克志	整形外科	科長	27年
吉川 一郎	整形外科 (小児整形外科)	科長	31年
鈴木 光明	産科	科長	40年
鈴木 光明	婦人科	科長	40年
森田 辰男	泌尿器科	科長	32年
中井 秀郎	泌尿器科 (小児泌尿器科)	科長	33年
西野 宏	耳鼻咽喉科	科長	28年
伊藤 真人	耳鼻咽喉科 (小児耳鼻咽喉科)	科長	27年
川島 秀俊	眼科	科長	31年
竹内 護	麻酔科	科長	29年
森 良之	歯科口腔外科	科長	30年
関矢 仁	リハビリテーション科	科長	29年
鈴川 正之	救急科	科長	38年
福島 敬宜	病理診断科	科長	24年

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。



(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）
・研修の主な内容 ・研修の期間・実施回数 ・研修の参加人数
② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）
・研修の主な内容 ・研修の期間・実施回数 ・研修の参加人数
③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況
・研修の主な内容 ・研修の期間・実施回数 ・研修の参加人数

(注) 1 高度の医療に関する研修について記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。なお、平成二十六年度中の業務報告においては、平成二十六年四月以降の実績（計画）を報告しても差し支えないこと（その場合には、その旨を明らかにすること）。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 (2). 現状
管理責任者氏名	病院長 安田 是和
管理担当者氏名	病院事務部長 稲垣 寛

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		病歴室及びそれぞれの部署にて電子管理	患者ごとの患者受診登録番号による
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	人事課	
	高度の医療の提供の実績	医事課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	経営管理課	
	高度の医療の研修の実績	経営管理課	
	閲覧実績	経営管理課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	経営管理課及び薬剤部	
第規一則号第一に掲げる十の一体一制第一の一項保各の号状及び第九の二十第一項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全対策部	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全対策部	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全対策部	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安産対策部	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	人事課	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	人事課	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	人事課	

		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	経営管理課	
--	--	------------------------------------	-------	--

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則 第一条の十一 第一項各号及び第九條の二十三 第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	感染制御部
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御部
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	医療安全対策部
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療安全対策部
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	用度課及び臨床工学部
		医療機器の安全使用	医療安全対策

		のために必要となる情報 の収集その他の医療 機器の安全使用を目的 とした改善のための方 策の実施状況	部	
--	--	--	---	--

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	②. 現状
閲覧責任者氏名	安田 是和	
閲覧担当者氏名	安田 是和	
閲覧の求めに応じる場所	経営管理課	
閲覧の手続の概要		
経営管理課内における原本の閲覧		

(注)既に医療法施行規則第 9 条の 20 第 5 号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件
閲覧者別	医師	延	0 件
	歯科医師	延	0 件
	国	延	0 件
	地方公共団体	延	0 件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

(様式第6)

規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項第1号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
・ 指針の主な内容： 基本理念、医療安全対策委員会・院内組織に関すること、重大事故発生時の対応	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 12 回
・ 活動の主な内容： インシデント・アクシデントレポートの報告状況 アクシデント事例の報告、検討	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 30 回
・ 研修の主な内容： 研修医研修、AED研修、中心静脈カテーテル挿入認定研修会、離床センター研修会、ペースメーカー研修会	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
・ 医療機関内における事故報告等の整備 ( 有・無 ) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 事例検討会、院内巡視、リスクマネージャー会議や講演会での報告、対応策の周知	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 ( 3名 ) ・ 無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 ( 8名 ) ・ 無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有・無
・ 所属職員： 専任 ( 5 ) 名 兼任 ( 12 ) 名 ・ 活動の主な内容： 職員研修会及び講演会の企画運営 事例の情報収集、分析、検討 事故発生時の対応等	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有・無

(様式第 6)

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容： 院内感染対策に関する基本的な考え方 院内感染対策に関連する委員会に関する基本的事項 院内感染対策のための従事者に対する研修に関する基本方針 感染症の発生状況の報告とそれに対する対応に関する基本方針 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針 その他の当該病院等における院内感染対策の推進のために必要な基本方針</p>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12 回
<p>・ 活動の主な内容： 病院長が積極的に感染対策に関わり、院内感染対策委員会、ICT、感染制御部が中心となって、すべての職員に対して組織的な対応と教育・啓発活動をする。 院内感染対策委員会で検討した事項は病院長に諮問した上で日常業務化する。 感染制御部長は ICT および感染制御部を統括する。 感染管理認定看護師は感染管理リンクスタッフ勉強会を主催、統括する。</p>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 35 回
<p>・ 研修の主な内容： 全職員対象医療安全・感染対策合同講演会：年 1 回（同一内容のDVD上映会を 2 回実施） 全職員対象感染対策講演会（外部講師）：年 1 回（同一内容のDVD上映会を 2 回実施） 全職員対象感染対策講演会：年 2 回（同一内容で 1 日 2 回実施、DVD上映会を 1 回実施） 新入職員対象オリエンテーション（全職種向け：年 1 回・看護師向け：年 3 回） 新入臨床研修医向け実習（事前演習有）：年 1 回、研修医向け合同講習会：年 1 回 中途採用者対象講演会：年 2 回 ICT 外来・病棟部門監査フォローアップ勉強会：年 5 回 リンクスタッフ（所属部署の感染管理担当者）勉強会：年 10 回</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 （有・無）</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容： 感染制御部は臨床検査部・細菌検査室から微生物データを毎営業日に提供を受けて状況を把握している。 すべての職員に配布した感染防止対策マニュアル（ポケット版）にアウトブレイク対応の手順が明記されている。 感染管理基礎データを収集して病棟毎に侵襲的処置の状況を月毎に確認している。 すべての病棟から MRSA 検出症例に関する状況を日報として感染制御部へ報告されるので、集計・分析を行い、月例の院内感染対策委員会においてフィードバックしている。 医療従事者の針刺し・切創について感染症科の協力を得て常時対応している。 独立した感染症科が組織横断的なコンサルテーション診療による適正抗菌療法を図っている。</p>	

(様式第6)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	㊥・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 4 回
・ 研修の主な内容： 薬剤部の活動について（看護部新採用者オリエンテーション：H26年4月3日）参加者：看護師110人 薬の処方及び麻薬の取扱い（レジデントオリエンテーション：H26年4月11日）参加者：医師44人 危険薬の取扱い（病棟・外来勉強会：H26年5月～）参加者：病棟・外来スタッフ123人 医療安全研修会（おやま薬薬連携研修会：H26年12月予定）参加者：薬剤師	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
・ 手順書の作成 ( ㊥・無 ) ・ 業務の主な内容： 手順書の改定 チェックリストに基づく実施状況の確認 病棟ラウンドおよび私立医科大学病院医療安全相互ラウンド	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医薬品に係る情報の収集の整備 ( ㊥・無 ) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 日本医療機能評価機構主催の薬剤安全セミナーへの参加 放射線医薬品取り扱いガイドライン講習会への参加と薬剤師による放射性医薬品の管理・調製 抗がん剤のレジメン管理とレジメンに基づく調製 入院患者持参薬の管理 医療安全対策委員会医薬品安全管理部会の開催	



(様式第 6)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 19 回
・ 研修の主な内容： 除細動器に関する講習(医師看護師対象) AEDに関する講習(看護師対象)	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・ 計画の策定 (有・無) ・ 保守点検の主な内容： 人工心肺装置及び補助循環装置、人工呼吸器、血液浄化装置、除細動装置、閉鎖式保育器、 診療用高エネルギー放射線発生装置、診療用放射線照射装置について保守点検計画を策定し、 実施している。	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 1. 医療機器の安全使用のために必要な情報を収集した場合は、共通の認識を持つため、関連部署へ情報提供をする 2. 医療機器の安全使用のための研修会実施 3. 医療機器の安全使用を目的とした事例の分析、検討、報告 4. 医療安全対策部において医療安全に係る情報を掲載した「あんぜん便り」という文書を作成している。ホームページにアップロードするとともに各部署のリスクマネージャーあてに配布することにより、医療機器の安全使用を目的とした改善策等についての情報を提供している。	

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類 (任意)

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	①・無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期 日本医療機能評価機構による評価 2011年3月	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	①・無
・情報発信の方法、内容等の概要 病院HPによる広報 (各種情報) 等	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	①・無
・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 部門別 (内科、外科) に循環器センター、消化器センター、呼吸器センター、脳神経センター、腎臓センターを設置している。	